

ふるさと東総

令和8年3月1日発行 No.25



中学生海外派遣研修事業 交流校であるマクタブ・サルタン・アブ・バカール校にて

〈編集・発行〉

東総地区広域市町村圏事務組合

〒289-2604

千葉県旭市高生1番地

(旭市役所海上庁舎2階)

電話：0479-85-8040

FAX：0479-85-8045

URL：http://www.tksj.jp/

QRコード



CONTENTS 目次

- 東総地区広域市町村圏事務組合管理者あいさつ… 2
- 東総地区広域市町村圏事務組合の概要…………… 2
- ごみ処理広域化推進事業…………… 3
- 中学生海外派遣研修事業…………… 4
- 銚子連絡道路整備促進事業…………… 5
- 組合議会…………… 6
- 職員採用試験合同実施事業…………… 6
- 職員共同研修事業…………… 6

はじめに ～地域発展のため着実な事業の推進を～

令和7年は大阪で55年ぶりとなる「大阪・関西万博」や、「東京2025デフリンピック」など、国際的なイベントが数多く開催された年でした。

また、当組合の圏域内においては、旭市では令和7年7月に、匝瑳市では令和8年1月に合併20周年を迎え、節目となる年でもありました。

銚子連絡道路につきましては、本年1月から匝瑳市～旭市間の用地取得交渉が始められました。今後も、山武・東総地域広域幹線道路網整備促進期成同盟会として、地域発展に向けて整備促進に努めてまいります。

また、中学生海外派遣研修事業も、令和6年度に引き続き実施することができました。5日間の日程を終えて帰ってきた生徒の皆さんの、見違えるほど成長した姿が印象的でした。この経験が、研修に参加された生徒の皆さんのこれからの人生において、かけがえのない糧となりますことを期待しています。

広域ごみ処理事業では、東総地区クリーンセンターを中心として、ごみ処理体制の効率化を進めています。その一環として令和6年度から進めていた、匝瑳市の既存ごみ処理施設（旧松山清掃工場）の解体撤去工事については、令和7年度中の完了に向けて取り組んでいます。令和8年度は匝瑳中継施設の建設に着手し、ごみ処理の広域化による事業効果を高めるため、中継施設の整備に関する事業を進めていきます。

今後も東総地区全体の発展のため、三市一丸となって取り組んでまいりますので、圏域内の住民の皆様には、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



東総地区広域市町村圏事務組合管理者(旭市長) 米本 弥一郎

東総地区広域市町村圏事務組合の概要

事務組合の構成

構成団体：銚子市、旭市、匝瑳市

圏域面積：316.07km²

圏域人口：157,216人

銚子市 面積：84.12km² 人口：58,431人

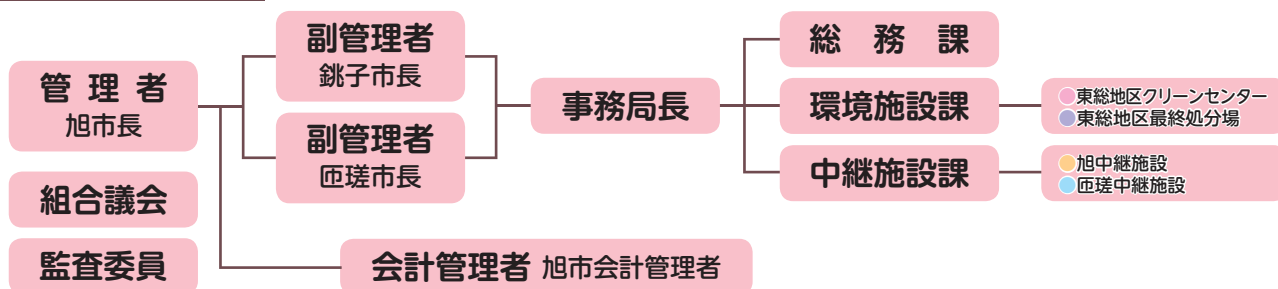
旭市 面積：130.47km² 人口：63,745人

匝瑳市 面積：101.48km² 人口：35,040人

〔面積：令和7年4月1日国土地理院公表値
人口：令和2年国勢調査確定値より〕



事務組合の組織



ごみ処理広域化推進事業

■ リチウムイオン電池の間違った捨て方は大変危険です！

身近な小型家電(携帯電話、加熱式たばこ、モバイルバッテリー等)には、リチウムイオン電池が多く使われています。リチウムイオン電池を正しく分別して出さないと、ごみの収集に伴う火災等の事故の危険が伴います。

実際にリチウムイオン電池等が原因での火災が急増していて、東総地区クリーンセンターでも、ここ数年で、リチウムイオン電池が原因とみられる小火(ぼや)が何度か発生しています。万が一、施設内で火災や爆発が起こると、復旧までに長い時間がかかるような事故になることもあります。ごみ処理施設が長期に使用できなくなると、皆様のごみを処理することができなくなってしまい、施設の復旧に費用がかかるほか、他の自治体や民間のごみ処理施設にごみ処理を委託しなければならなくなるため、皆様の税金を多額に使うことになってしまいます。

一人ひとりが正しいごみの分別をして、リチウムイオン電池混入による火災を防ぎましょう。

※過度な力が加わると発熱・発火する危険があります。

ごみとして出すときは分別方法を必ず確認し、正しく出してください。



▲リチウムイオン電池の発火が原因で、リサイクル工場の建屋・設備が焼けてしまった事例



▲過度な力が加わり発熱・発火した加熱式タバコ

画像の出典：公益財団法人日本容器包装リサイクル協会ホームページ

■ 新たな中継施設を整備

ごみの収集運搬にかかる費用の縮減や運搬時間の短縮、東総地区クリーンセンター周辺の交通公害の軽減のため、旭市及び匝瑳市の既存ごみ処理施設を解体撤去し、それぞれに新たな中継施設を整備します。

現在、匝瑳中継施設の整備に関する事業を実施しており、令和6年度から旧松山清掃工場の解体撤去工事を行っています。

また、令和8年度からは中継施設の整備に着手する予定であり、ごみ処理の効率化を図るため、引き続き中継施設の整備を進めていきます。



▲解体撤去工事の状況

中学生海外派遣研修事業

銚子市、旭市、匝瑳市の中学2年生25名の参加による「東総地区中学生海外派遣事業」が、令和7年7月22日から26日にかけて、シンガポール及びマレーシアで実施されました。

この研修では、シンガポールでの班別自主研修や、マレーシアの現地学校（マクタブ・サルタン・アブ・バカール校）を訪れての交流会など、積極的に英会話を実践する研修が行われました。

班別自主研修では、事前研修で立てた計画に従って、シンガポールの街を散策しました。異国の光景に戸惑いながらも、皆で協力し合い、身振り手振りを交えた英語で、道を尋ねたり買い物をしたりと、楽しく一日を過ごすことができました。

現地校との交流会では、折り紙やコマ、竹とんぼ、だるま落としといった日本ならではの記念品の贈呈を行った後、よさこいソーラン等を披露しました。その後は、日本の伝統的な遊びや、英語で説明を受けた現地の遊びを通して、現地校の生徒達と一緒に大いに盛り上がりました。短い時間ではありましたが、異国の生徒との親交を深め、異文化に触れることができました。

今回の研修では、多民族国家であるシンガポールやマレーシアで、英語を通して、お互いの文化・生活・宗教を理解し尊重しながら生活している様子を肌で感じることができました。将来を担う中学生たちにとって、国際社会や異文化への関心を深めるとともに、日本の文化や良さなどを再認識するきっかけになりました。



▲マーライオンパークで記念撮影



▲シンガポール市内での班別自主研修の様子



▲交流会の様子（左：よさこいを披露、右：現地校の生徒と一緒に大縄跳び）

銚子連絡道路整備促進事業

地区大会

令和7年5月21日、銚子市市民センターにて、銚子連絡道路整備促進地区大会が開催されました。大会主催者代表としてあいさつに立った山武・東総地域広域幹線道路網整備促進期成同盟会会長（旭市長）は、「早期整備がなされることにより、山武・東総地域の活性化が図られるよう、地域住民の皆様と関係機関が一丸となって取り組むことが重要である」と一日も早い完成を訴えました。



▲高梨千葉県副知事（右）へ要望書を提出



▲意見発表 リレイル(株) 和泉代表取締役

要望活動

地区大会での決議をふまえて、令和7年10月6日、山武・東総地域広域幹線道路網整備促進期成同盟会は、地元選出国會議員である小池正昭議員の紹介で、衆・参国會議員、財務省、国土交通省及び関東地方整備局を訪問し、銚子連絡道路の早期完成に向けての要望活動を行いました。



▲国土交通省での要望活動の様子（左：廣瀬技監と面談、右：石和田道路局次長と面談）



組合議会

■組合議会とは

組合議会は、組合を構成する銚子市、旭市、匝瑳市から選出された議員で構成されています。

年2回(9月と3月)の定例会のほか、必要に応じて臨時会が開催され、組合予算の決定・決算の認定等を審議します。

■組合議員(令和8年2月13日現在)

議長 広野 恭代(銚子市)

副議長 石神 嘉明(銚子市)

議員

鎌倉 金(銚子市) 宮内 保(旭市)

松木源太郎(旭市) 飯嶋 正利(旭市)

都祭 広一(匝瑳市) 平山 政利(匝瑳市)

■行政視察

組合議会として圏域内の産業振興への参考とするため、令和7年2月5日に茨城県常総市への行政視察を実施しました。

常総市で実施されているアグリサイエンスバレー事業について説明を受けた後、農業をはじめとした各産業の現状と今後について意見を交わし合い、見識を深めました。



▲行政視察の様子

職員採用試験合同実施事業

- ◆目的：構成市、圏域内一部事務組合の職員採用試験(第1次試験)を合同で実施し、経費の節減を図ります。(※)
- ◆実施日：令和7年9月21日(日)
- ◆試験会場：銚子市立銚子高等学校
- ◆参加団体：銚子市、旭市、匝瑳市、匝瑳市横芝光町消防組合、東総広域水道企業団、八咫水道企業団
- ◆試験職種：13職種(一般行政職、技術職等)
- ◆応募者数：156人
- ◆受験者数：143人

※第2次試験以降の試験(面接等)は、各団体で実施。

職員共同研修事業

- ◆目的：構成市、圏域内一部事務組合の職員として執務に必要な基礎的知識を習得するとともに指導力及び勤務能力の向上を図ります。
- ◆主な研修と対象となる職員
 - ・新任職員研修：新規採用職員
 - ・初級職員研修：在職期間4年以上
 - ・中級職員研修：在職期間10年以上
 - ・監督者研修：係長又は同等の職にある職員等
- ◆修了者数：計281人

